

議 会 報 告

遠軽町議会 経済常任委員会

2023年10月28日（土） メトロプラザ

経済常任委員会の構成と調査項目

経済常任委員会 構成

委員の任期は2年

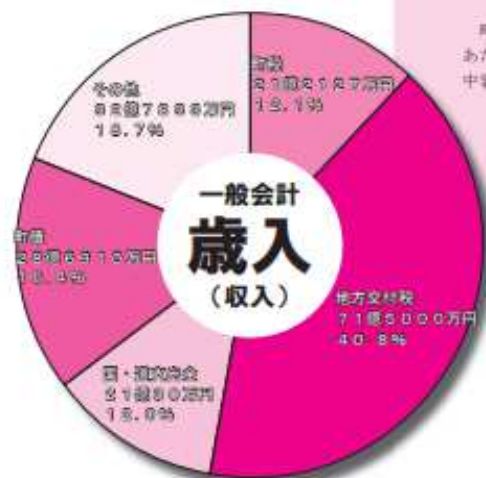
委員長	山本	悟
副委員長	前島	英樹
委員	黒坂	貴行
委員	竹中	裕志
委員	山谷	敬二

調査項目

- 1 農業及び林業
- 2 商工業及び観光産業
- 3 消費及び労政
- 4 道路及び河川
- 5 公営住宅及び建築
- 6 都市計画
- 7 公共下水道事業（特別会計）
- 8 水道事業（特別会計）

所管事務調査とは、委員会が所管している事務について調査を行い、議案の審査や町に対して政策の提案を行ったりするものです。

令和5年度 予算審査



令和5年度の一般会計歳入予算額
175億1900万円

町議会では、新年度予算の審査にあたっては特別委員会を設置し、集中審議を行っています。

令和5年度予算についても、町本議長を除く15人の議員で構成した予算審査特別委員会（阿部君枝委員長）を設置して審議しました。

予算とは？

皆さんからお預かりした大切な税金など、1年間の収入を見積もり、どのように使うか計画することです。

～まちの収入と使いみちから～

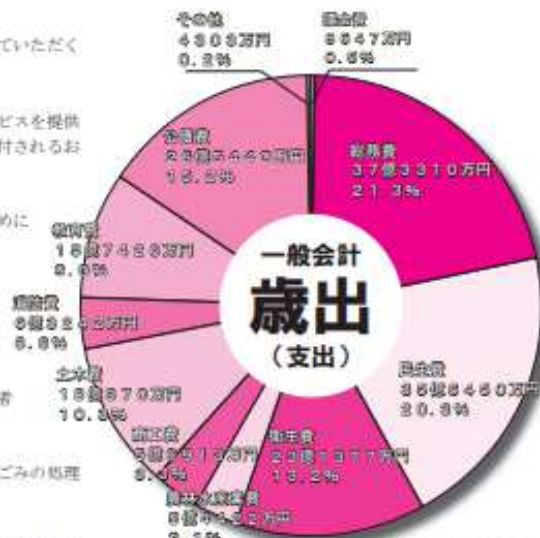
予算審査の主な流れ



- 町長が議会に対し予算案を提出し、本会議で提案説明をします。
- 議長を除く全議員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、予算案の審査を付託します。
- 予算審査特別委員会では、議員（委員）が予算の科目ごとに予算案について詳しく質疑を行います。これを数日かけて集中的に審議し、採決を行います。
- 本会議において、予算審査特別委員長が審査の経過と結果を本会議で報告し、採決を行います。可決されれば予算が決定します。

予算審査

- 町税
町民の皆さんに納めていただく税金
- 地方交付税
一定水準の行政サービスを提供できるように国から交付されるお金
- 町債
道路や建物を造るために借りるお金
- 総務費
特別職、一般職人件費、庁舎等管理など全般的な経費
- 民生費
児童、高齢者、障害者の支援等に関する経費
- 衛生費
医療、衛生、予防、ごみの処理等に関する経費
- 公債費
過去に借りたお金の返済に関する経費



令和5年度の一般会計歳出予算額
175億1900万円

議会費8647万円は 何に使う？



- 議員報酬及び期末手当等 7025万円
15人の議員への報酬、手当、共済費を支出するための予算です。なお、報酬月額は次のとおりです。
- | | |
|---------------|--------|
| 議長 | 29万5千円 |
| 副議長 | 23万6千円 |
| 常任委員長・議会運営委員長 | 21万2千円 |
| 議員 | 20万1千円 |
- 議会広報事業 172万円
「えんがる議会だより」（年4回、1回あたり8700部）を発行するための予算です。
- 議会活動事業 817万円
主に議員の研修のための旅費や議長交際費を支出するための予算です。
- 議会一般経費 633万円
議会の議事や庶務を行うための予算です。

1 農業及び林業

農業について

国際情勢等の影響により、肥料、飼料、燃料等の価格が上昇にある中、農畜産業の振興と安定経営のために関係団体と連携するとともに、担い手対策も含め引続き各種支援を講ずるべきである。

- 1) 原油価格高騰対策営農支援金（コロナ交付金）
- 2) 農業担い手対策事業

林業について

森林環境譲与税の活用を促進しながら良質な水環境保全など森林整備の強化を図り、林業生産の振興促進に努めるべきである。

- 1) 民有林振興対策事業
- 2) 森林経営管理事業
- 3) 森林林業活用事業

2 商工業及び観光産業

商工業について

関係団体と連携協議を継続し、商工業振興の推進を図りながら地場産品の研究開発、企業の振興育成に努めること。メトロプラザを核としたコミュニティ機能を最大限に活用して商店街の活性化を引き続き推進し、起業支援を図るため空き店舗等の活用を含めた政策を推進すべきである。

1) 新型コロナウイルス感染症対策事業（令和5年度補正予算）

①中小企業等事業継続支援金 2500万円

エネルギー価格の高騰、経済的に大きな影響を受けている企業を支援

支援区分 農 業 10万円（法人） 5万円（個人）

その他業種 5万円（法人） 25千円（個人）

②生活応援プレミアム付商品券の発行事業 4692万円

販売額 10,000円⇒12,000円の商品券（1,000円×12枚）

2) 商店街助成事業

3) 企業振興促進助成事業

2 商工業及び観光産業

観光産業について

町の玄関口「遠軽 森のオホーツク」を中心に、国宝指定となった「白滝遺跡群出土品」を含む地域観光資源の特色を生かした観光振興を図り、国内外からの観光入込客増加と地域経済の活性化を図るべきである。

1) 生田原振興公社の経営状況 厳しい運営の中、お客の利用増加がありました。

生田原コミュニティセンター指定管理料 (4264万9千円)

令和4年度当期純利益 13,205,359円 (前年度 -2,322,489円)

但し原油価格高騰負担軽減事業 (コロナ交付金) 600万円

維持管理体制持続化事業 (コロナ交付金) 720万円 を含む

ノースキング入浴利用者 48,674人 (前年 47,756人)

〃 宿泊利用者 9,529人 (前年 7,238人)

レストランノースキング 利用者 29,572人 (前年 28,197人)

ちゃちゃワールド入館利用者 12,736人 (前年 8,644人)

今年度より木質バイオマスボイラーの稼働により燃料費の低減へ

2 商工業及び観光産業



ホテルノースキング



ちゃちゃワールド



2) やまびこ管理事業

やまびこ温泉内に新たに温水シャワーを設置したことにより、いこいの森の
更なる 利用促進に！

使用料（入浴料）「温水シャワー 1回300円」

3 消費及び労政

円安・原油高などに由来する世界及び国内経済の変化に大きな影響を受けている事業所を守り地域経済の活性化を図るためにも、引き続き業種に応じた手厚い支援を講ずるとともに労働力不足が問題となっていることから労働者確保の施策を講ずるべきである。

- 1) 季節労働者対策事業
- 2) 職業能力開発事業
- 3) 勤労者対策事業

4 道路及び河川

道路について

道路改良、道路維持については、引き続き地元住民の意見を把握するとともに、併せて橋梁についても長寿命化計画に基づき計画的に推進すべきである。

除排雪については、優先度を考慮し主要道路、歩道及び交差点はできるだけ速やかに行い、事故防止に万全を期すべきである。

- 1) 道路橋梁維持事業 橋梁長寿命化工事 道路新設改良事業
- 2) 除排雪事業

河川について

災害時における被害を最小限にとどめるために、日常的なパトロールや小河川の土砂及び流木等の処理を計画的に実施すべきである。

- 1) 災害復旧事業 河川管理事業

5 公営住宅及び建築

住宅建設については、民間の住宅や集合住宅の需要及び空き家状況を勘案し、総合的に検討するとともに、既存の住宅の修繕・改修に当たっては、遠軽町町営住宅長寿命化計画に基づき利用状況の推移をみながら執行すべきである

1) 町営住宅建設事業

- ①中央団地（白滝）公営住宅長寿命化改修工事
- ②末広団地（遠軽）公営住宅長寿命化改修工事

2) 定住促進住宅管理事業

- ①伊吹高原団地（生田原）定住促進住宅水洗化工事

9月定例議会 決算認定での付帯意見

町営住宅使用料の収入未済額26,069千円は限られた受益者の負担であることから早期回収につとめるべきである。

6 都市計画

都市計画マスタープランに基づき、関係機関と連携を図り計画を推進するとともに、中心市街地活性化を図るために駅前広場の開発については、公共交通機関の拠点として利用者並びに町民が安心して利用できる利便性の高い開発となるよう協議を進めるべきである。

1) 都市計画審議会 委員10人 内議員3人 年4回開催

2) 都市計画基本図の作成

都市計画図の整備及びGIS情報（地理情報システム）との連携

駅前広場再開発（令和8年度完成予定）

住民説明会 11月9日（木）メトロプラザ

7 公共下水道事業

施設の適切な維持管理と環境整備に努め、計画的な財政運営、事業運営を進めるべきである。未整備地区については、個別排水処理事業と共に計画的な整備に取り組むべきである。

9月定例議会 決算認定での付帯意見

下水道使用料の収入未済額11,845,067円は使用者の負担の公平性から、引き続き回収につとめるべきである。

8 水道事業

水道施設の整備、水源周辺の保全については、引き続き適切かつ安定した水量と水質管理に留意し、管理運営をすべきである。

水道管の更新については「水道ビジョン」に基づき計画的に実施すべきである。

道路改良工事（宮前1条通道路改良工事）にあわせて水道管の更新を行っている。

9月定例議会 決算認定での付帯意見

水道使用料の収入未済額 16,960,891円は使用者の負担の公平性から、回収と長期的に健全な事業運営に努めるべきである。